



年頭にあたり

東埼玉資源環境組合議会

議長 瀬戸 健一郎

新年あけましておめでとうござい
ます。

私は、昨年12月組合定例議会にお
いて、議長に就任し、議会の円滑な
運営と組合の発展を目指して、誠心
誠意職務に邁進いたしております。
お陰様で大過なく年越しをすること
ができました。これはひとえに皆様
のご支援とご協力の賜と感謝申し上
げる次第です。

さて、現代の技術革新は私たちに
様々な生活環境の変化をもたらし、
時代はめまぐるしく動いております。
大量生産、大量消費を背景に、大量の
廃棄物が発生し、資源の枯渇化と地
球環境の破壊が人類の最重要課題と
なっており、今こそ百年、
千年を単位とした発想が必要です。

当組合は、昭和40年10月に「埼玉
県東部清掃組合」として発足以来、
関係五市一町のごみ・し尿処理を行

ってきましたが、時代の変遷に応じ
た新たな役割を担っていくため、昨
年4月1日から名称を「東埼玉資源
環境組合」と変更し、「環境」と「情
報」を運営の基本とし、循環型社会
の実現を目指して、新たなスタート
をきったところでです。

しかし、肝心なのは使えるものは
再利用（リユース）し、ごみを減量
化（リデュース）することであり、
ごみを燃料とした当組合の火力発電
は再資源化（リサイクル）にあたり、
いわゆる3Rの最後の部分ですから、
地域住民の皆様のさらなるご理解と
ご協力が必要です。議会といたしま
しても、皆様の付託に最大限に応え
てまいりますので、何卒、よろしく
お願い申し上げます。

新しいミレニアム（千年紀）を迎え
るにあたり、住民の皆様のご多幸と
ご繁栄を心からお祈り申し上げます。